

# L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 動作確認テスト・サンプルファイル

白 清水

平成30年5月6日

## 0.1 メモなど

コマンドライン上で操作するのが半端なく面倒くさかったので部活で使用したことがある SourceTree で管理することにしました。

色々弄ってはみましたが、もしかしたら知らないアカウントになっているかも知れません。申し訳ありません…。(清水)

# 第1章 関数(数学)

## 1.1 インストール成功！

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の世界によろこ！この文章が「dviout」というソフトで閲覧できていれば、インストールに成功しています。

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X（ラテフ）もしくはT<sub>E</sub>X（テフ）は、組版処理を行うソフトウェアです。数学者・コンピュータ科学者のドナルド・クヌース氏によって作られました。

このソフトを使うと、きれいな文章の作成ができます。実際に出版の現場でも使われているそうです。数学者が作ったということもあって、特に数式の出力がきれいにできるのが特徴です。

$$\lim_{x \rightarrow 1} \left( \frac{2}{x-1} - \frac{x+5}{x^3-1} \right), \quad \int_0^\pi \cos^2(x) dx$$

2つの数式が、きちんと表示されていますか？複雑な数式が入った文章も、きれいに出力することができます。

## 1.2 基本手順

では、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X で文章を作る際の、基本的な手順をここに示します。

1. ソースファイルをエディタで作成する。ソース（素）となるファイルを作成します。これにはエディタと呼ばれるソフトを使います。この地点では文章の形にはなっていません。
2. ソースファイルをコンパイルして、dvi ファイルを作成する。  
パソコンに変換を命令して、先ほどつくったソースファイルを dvi ファイルに変換、文章の形にして確認します。
3. dvi ファイルができたことを確認したら、PDF に変換する。

dvi 形式は、あまり一般的ではありません。そこで、Adobe Reader などで閲覧ができる PDF 形式に変換します。

ちなみに、このファイルは適当にどこからか、コピペしてきました。適当にお使いください。